



2021年10月18日

各 位

会 社 名 クオールホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 敬
 (コード番号 3034 東証第一部)
 問い合わせ先 取締役 富 樫 豊
 T E L 03-6430-9060

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期 第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 83,100	百万円 3,300	百万円 3,300	百万円 1,800	円 銭 47.89
今回修正予想(B)	81,800	4,300	4,300	2,360	64.37
増減額(B-A)	△1,300	1,000	1,000	560	—
増減率(%)	△1.6	30.3	30.3	31.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2021年3月期第2四半期)	79,090	2,080	2,109	630	16.75

(2) 2022年3月期 通期期間(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 175,000	百万円 9,000	百万円 9,000	百万円 4,200	円 銭 114.67
今回修正予想(B)	175,000	10,000	10,000	5,000	136.39
増減額(B-A)	0	1,000	1,000	800	—
増減率(%)	0	11.1	11.1	19.0	—
(ご参考)前期 通期実績(2021年3月期 通期)	161,832	7,364	7,403	3,365	89.55

2. 修正の理由

保険薬局事業は、緊急事態宣言の発出やその長期化の影響を受けたものの、処方箋の受付枚数が回復し、国が求める薬局機能の強化である「かかりつけ薬局」の推進・在宅医療への積極的な参画や、ジェネリック医薬品市場において一部混乱がありながらもその使用促進に取り組んでまいりました。また当社が注力しております医療関連事業も期初計画を上回って推移しました。その結果、売上高は前期比103%の増収、営業利益、経常利益では前期比200%超、四半期純利益では374%の大幅な増益となる見込みとなりました。今後もコスト適正化や生産性向上、在庫管理を推進してまいります。

2022年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況が引き続き不透明ですが、各段階利益が期初予想を上回る見込みとなり、修正することといたしました。

※上記の見通しにつきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により見通し値と異なる場合があります。

以 上